

# ふるさとにっこり通信



自民改革会議  
静岡県議会議員

## あつ ゆき らち淳行 県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

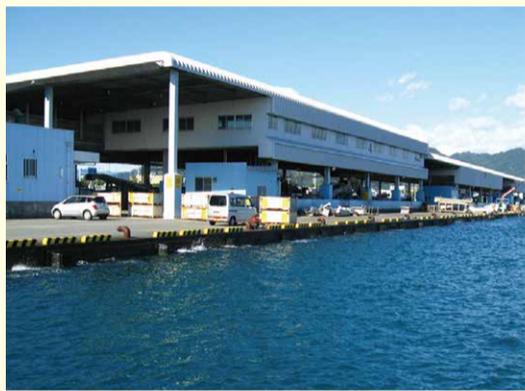
第19号 2016.12



平成28年9月定例会

## らち淳行

## 産業委員会 委員長報告



※写真はイメージです

今回の補正予算では、焼津漁協における水産物の品質向上や海外への輸出に向け、焼津漁港にある老朽化した冷蔵施設の再整備を行う経費を計上したところであります。また本県では、T P P の大筋合意を契機に施設整備を初めとした水産業の体質強化の取り組みを強力に推進しているところであり例えば『いとう漁協』においては、国及び県の助成制度を活用し、現在『いとう魚市場』の荷捌き施設の整備を行っているほか、金融機関の基金を活用した漁協直営食堂の再整備を行うと聞いています。今後助成制度の活用を念頭に水産関

### 焼津漁港にある老朽化した冷蔵施設の再整備

産業委員会における審査等の概要と結果について報告させていただきます。



※写真はイメージです

係団体と一体となって、施設整備に取り組んでいきたいとの答弁がありました。

### 本県独自の産業人材確保・育成プラン策定事業

当局から、この補正予算は、働き方改革を盛り込んだ本県独自の産業人材確保・育成プランを作成するための調査に要する経費であります。まず産業基礎調査として、農林水産業も含む県内企業3000社を対象に雇用労働や人材育成の課題についてアンケート調査を実施し、あわせて個別調査として200社を訪問し、アンケート調査では踏み込めなかった部分を企業経営者から直接聴取するほか、新社員への聴取を通じてインターンシップ効果検証を行う計画があります。

### らち淳行一般質問



12月9日(金)10時30分より  
政務活動を通しての一般質問を行いますので是非傍聴下さい。



※写真はイメージです

その後調査結果の集計、分析整理を経て、来年2月に知事、副知事、関係部局長から成る本部会議を設置し検討を重ね、来年8月に同プランの策定、公表を予定しているとの答弁がありました。

### 先端農業推進拠点の整備における学術研究機関との連携

農産物の高品質化や高機能化を図るため、慶応義塾大学や理化学研究所、県内大学等と連携を図り、例えばA-Iを使った農業の情報分析によって今まで経験的だったものを見える化する

技術など、農業分野の技術にとらわれず、これまでの農業に応用できなかった学術的な研究を取り込もうと考えている。

### 静清工業用水道の再整備事業

静清工業用水道は、県内7つの工業用水道のうち最も古く、平成22年には大規模な漏水事故も発生している、その他の工業用水道でも建設から40年以上も経過したものはあるが、調査の結果から、緊急の更新が必要な管路は無かったため、このたび施設の更新が最も急務で、かつ多額の費用を要する静清工業用水道について、国の補正予算を活用して重点的に整備することとしたとの答弁がありました

# 産業委員会より 委員長 らち淳行

## 先端農業推進拠点の整備

農業及び関連産業生産額の飛躍的な向上を図るため、沼津市にある東海大学旧施設を改修し、県内外の学術・研究機関や企業等が協創して農業の生産性革新に取り組むためのオープンイノベーションの拠点を整備します。

ICTやロボットなどの先端技術を積極的に導入

## 農業生産性の飛躍的な向上

先進的な科学技術やものづくりの技術を農業分野に応用し、農産物の高品質化、高機能化、高収量化、低コスト化を実現

目的

目的

手法

先端的な科学技術を有する県内外の研究機関や、ものづくり技術を有する企業等が、協創して農業の生産性革新に取り組むための農業版オープンイノベーションを推進し、農業産出額の飛躍的な向上につなげる。

## 産業人材の確保

雇用情勢の回復や大学進学などにより、県内企業においては人材確保が厳しい状況となっています。

大都市圏の大学生等の就職活動支援を拡充するとともに、実務経験豊富な人材を首都圏等から本県に還流させるU・Iターン支援に取り組み、県内企業への就職促進に努めます。

### 大学生対象

- 首都圏** → 静岡U・Iターン就職サポートセンターの運営 大学との就職支援協定・連携
- 中京・近畿圏** → 大学との就職支援協定・連携
- 県内** → 学生・地域企業交流会開催 インターンシップの促進（企業セミナーほか）
- 共通** → 大学訪問、学内ガイダンスへの参加 企業説明会、就職面接会の開催 企業向け人材確保セミナーの開催 大学等・企業担当者情報交換会の開催

### 社会人(求職者)対象

- UIターン促進**
- 静岡移住・就職応援事業
- 県内企業と県外人材マッチング支援事業
- 中小企業UIターン促進事業費
- 県内**
- [シニア等人材バンク]システム構築

## 防災・減災強化資金の制度改正

本年4月に発生した熊本地震においては、旧耐震基準の建築物が大きな被害を受けました。

本県では、これまでも「防災・減災強化資金」等を通じ、建物の耐震診断や改修の推進を図っていますが、多数の者が利用し、耐震改修促進法において耐震化の努力義務が課せられている特定建築物は、地震災害防止のためにも、早期の対応が求められていることから、特定建築物（3階以上かつ1000㎡以上等）の耐震化に関する制度融資を拡充し、事業者への資金供給を支援するため、新たに「特定建築物耐震化特別貸付」を創設します。



熊本地震での被災地の様子

## 活動報告

### 焼津消費生活展

焼津市消費生活展におじゃまして頂きました。私にとっても、毎回、日常生活をとりまく身近な問題について再認識をさせていただく大切な機会になっています。もっとも身近でありとても大きな問題である人権についても



人権イメージキャラクターの人KENまもる君(左) 人KENあゆみちゃん(右)

この目で確認し、直接要望等をお伺いしています。この目で確認し、直接要望等をお伺いしています。この目で確認し、直接要望等をお伺いしています。

### さば祭り



今年も、盛大に開催された、さば祭りにお伺いさせて頂きました。これからの水産業を支える焼津水産高校の皆さんも大活躍されていました。それにしても、小さいころから食べているこの脂ののったサバは何でこんなにおいしいのでしょうか。より多くの方々に魚のおいしさを味わっていただくようにこれからもがんばります。



## 平成29年度の静岡県農業施策に関する要望をお伺いしました



一般社団法人静岡県農業会議の平成29年度静岡県農業施策に関する要望についてご説明を頂きました。平成27年の農業委員会等に関する法律の改正により、農業委員会の仕組みが大きく変わりました。農業現場の抱える担い手の高齢化、担い手の減少、遊休農地の増加、鳥獣被害の増加、外国との経済活動の自由化に伴う農産物価格の低下など問題に関する要望についてご説



※写真はイメージです

明を頂きました。その中でも、行政として、農業委員会ネットワークとの連携、支援、農業委員会活動への支援協力を行うことの重要性を感じました。

# らちち淳行 あつゆき 視察報告

## 静岡県議会産業委員会 県内視察

- 北海道さっぽろ「食と観光」情報館
- 苫小牧港管理組合
- 地方独立行政法人北海道立総合研究機構
- 北海道農業担い手育成センター
- 札幌テクノパーク

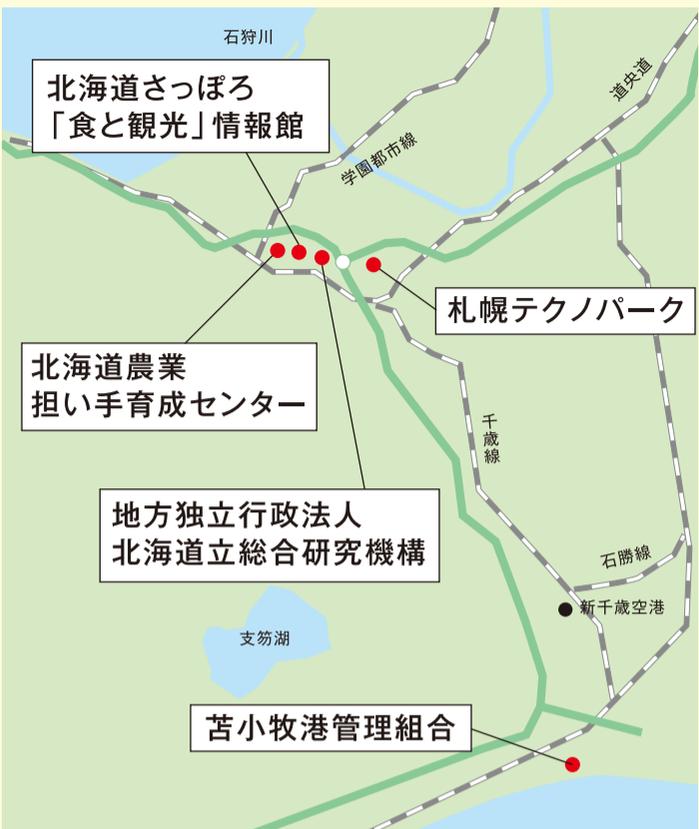
## 北海道さっぽろ「食と観光」情報館



北海道と札幌市が連携し、観光客や札幌市民への観光案内及び食の魅力の情報発信の拠点としてJR札幌駅内に整備された施設で、北海道と

市町村、JRの3者による協同の施設は全国初です。  
Kita・Beer（キタバ）の愛称で知られ、北海道全域の情報や魅力をワンストップで発信している同施設を調査しました。

- 道内全域のパンフレットエリア毎、言語別に見やすく陳列
- 案内スタッフは英語、中国語、韓国語対応も可能なスタッフを配置



今回の視察により学んだ内容を地元焼津の活性化に役立ててまいります。

● JR北海道との連携により「JR総合案内所」を併設



外国人の割合が27年度は180万人  
外国人は50%を超えています。

### 苫小牧港管理組合

苫小牧港は、北日本最大の港湾であり、外国とのネットワークも幅広い、北海道内の港湾取扱貨物量のおよそ5割を占めており、製造品出荷額は北海道内1位となっています。全国的に見ても、港湾取扱貨物量は第4位(平成24年)です。

「苫小牧港漁港区将来ビジョン」を策定し、苫小牧港の特性を活かし、水産を核とした魅力ある漁港づくりを目指している同港を調査しました。



● 水産分野での目標「苫小牧港を利用した生産・流通体制の強化と消費拡大」

● 防災分野での目標「漁業者を始め、多くの利用者が安心して苫小牧港の防災力の向上」

● 観光分野で目標「苫小牧港の活力・交流を支える水産・観光拠点づくり」



苫小牧港の水揚げ量は約8000トンです

### 地方独立行政法人北海道立総合研究機構

道内の農業、水産業、林業、工業、食品産業、環境、地質及び建築の各分野に関する試験、研究、調査、普及、技術開発等を行い、北海道民の生活向上及び北海道内の産業の振興に寄与することを目的として、2010年に設立されました。北海道の産業の根幹を担う同



● 法人の運営や取り組み状況を調査しました。

● 横のつながりが強化

● 総合的な研究の推進、課題の共有

● 意思決定の迅速化が図られ柔軟な組織運営

● 本部に総合相談窓口を設置してワンストップサービスが可能に

26あった北海道の公設試験研究機関内の22機能を統合して効果が出たようです。



### 北海道農業担い手育成センター

21世紀の北海道農業を担う若者を育成・確保するための総合窓口として、北海道、市町村、農業関係団体によって設立された機関で、各市町村や関係団体と連携を図りながら、農業の担い手育成、確保に向けたさまざまな支援を行っています。

就農支援資金貸し付け事業や研修教育体制の整備等、日本一の農業王国を支える同センターの取り組みを調査しました。

● 就農促進支援活動

● 就農支援資金

● 研修教育体制の整備

● 成年就農給付金



### 札幌テクノパーク

札幌テクノパークは、情報通信関連の産業を新たな都市型先端技術産業として定着させ、次代を担う主力産業に育成することを目的に、札幌市役所経済局が全国に先駆けて整備した研究開発型の団地です。

北海道のIT関連企業集積拠点の運営や取り組みを調査しました。



30年前に比べ10関連の売り上げが800億円から4000億円にまで伸びたそうです。

もっと良<sup>く</sup>知<sup>ろう</sup>!

# 水産業の体質強化に向けた取組み

- 昨年10月のTPP交渉大筋合意を契機として、本県水産業の体質強化を図るため、県漁連が中心となって「TPP水産対策協議会」を設置。
- これまでに「水産物の高付加価値化」や「輸出送信」等の5項目の基本方針決定。
- 県は、県議会に参画し、施策の検討・実践を強力に支援する。

## 本県水産業の体質強化に向けた基本方針（TPP 水産対策協議会決定）

### 水産物の高付加価値化

- 衛生管理の向上を目指して行う魚市場等の拠点施設の整備
- 漁業者等が取り組む鮮度維持技術の向上支援

### 輸出促進

- 協議会内に「水産物・水産加工品輸出促進部会」の設置
- 海外市場調査や輸出に向けた生産流通体制の整備

### 生産体制の強化

- 省エネ推進など収益性の高い操業体制へ転換
- 6次産業化の推進による収益性の強化

### 担い手の育成

- 新規就職希望者への情報・教育機会の提供・団体職員の技能向上

### 資源管理

- 資源の持続的利用に向けた種苗生産や漁業整備、操業ルールの確立

## 平成28年度主要事業（一部掲載）

### 水産物産地市場施設整備関連事業費助成

	実施主体	事業内容	H28予算額
当初予算	焼津漁港	衛生管理型荷さばき施設整備 H28工事	1,132,093千円
9月補正 予算案	焼津漁港	新冷蔵施設整備 H28設計、旧施設撤去	117,909千円



※写真はイメージです



※写真はイメージです

### 県水産輸出促進事業

静岡ブランドを確立するため、サンプル輸送・バイヤー招聘や商談会開催を通じ、商流を構築

#### サンプル輸出

生産流通体制の整備（水産5品程度）

#### バイヤー招聘

県内産地見学、商談会

#### セミナー開催

輸出に取り組む生産者の拡大

#### その他活動

寧波市政府との協議、バイヤー商談等

ふるさとにっこり通信 第19号 2016.12  
自民改革会議 静岡県議会議員

## らち淳行県政報告

目指すは「ふるさと暮らし満足度日本一」のまちづくり

らち淳行公式ブログをご覧ください  
活動内容をご報告しています

検索 らち淳行 思ったこと

<http://rachiatsuyuki.eshizuoka.jp/>

発行 らち淳行 事務所 静岡県焼津市一色 488 TEL 054-631-6123

